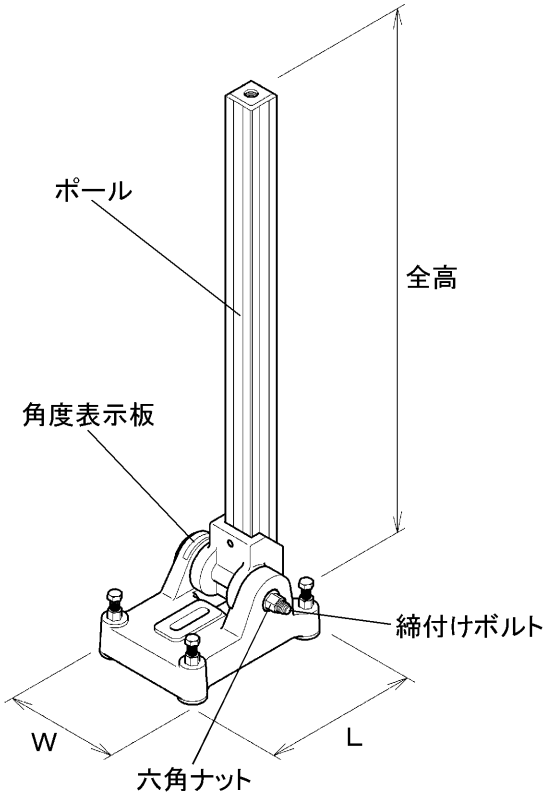
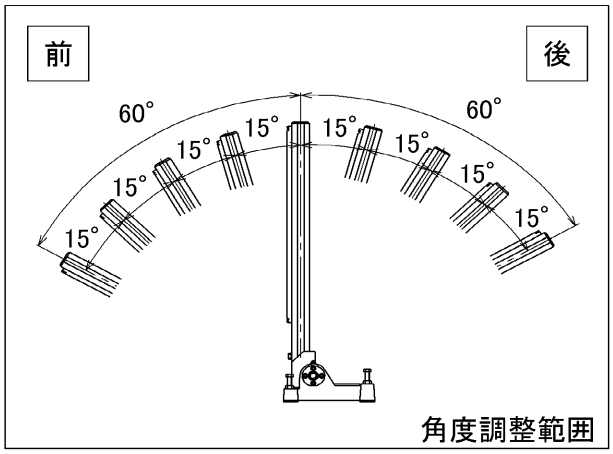
角度調整ベース　取扱説明書

【1】各部の名称と角度調整範囲





【2】仕様

品　名	型　式	取付座（W x L）x 全高	適用コアードリル	オプション
□49 角度調整ベース	AB-491-850	185 x 250 x 850 mm	SPN シリーズ SPF シリーズ	—
	AB-491-1040	185 x 250 x 1040 mm		
□55 角度調整ベース	AB-551-910	190 x 295 x 910 mm	SPZ シリーズ	—
	AB-551-1050	190 x 295 x 1050 mm		
□59 角度調整ベース	AB-591-950	190 x 295 x 950 mm	SPM･SPO シリーズ （ SPO-24Rは除く ）	ベース用 キャスター
	AB-591-1050	190 x 295 x 1050 mm		

【3】取扱注意事項

1. 角度の調整は、ドリルヘッドなど取付けずに角度調整ベース単体で行ってください。

2. 角度の調整は、角度調整ベースを倒した状態で行ってください。
   ポールの転倒等の事故を避けるため、角度調整ベースを倒した状態で、角度調整作業を行ってください。

3. 角度調整後は、各種コアードリルの取扱説明書にしたがって、穴あけ作業を行ってください。

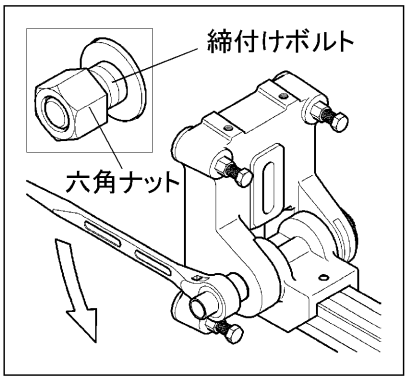
4. 切削前は、六角ナットを締め直してください。
   角度位置の固定は、締付けボルトのスプライン部（ギヤ）をかみあわせることで行っています。このスプライン部のバックラッシュ（ギヤ間のあそび）のため、ポール上端で前後方向に20mm程度のガタ付きがあります。したがって切削時にポールが動かないよう、ポールを後方向に押付けた状態で、六角ナットを締め直す必要があります。

【4】角度調整方法

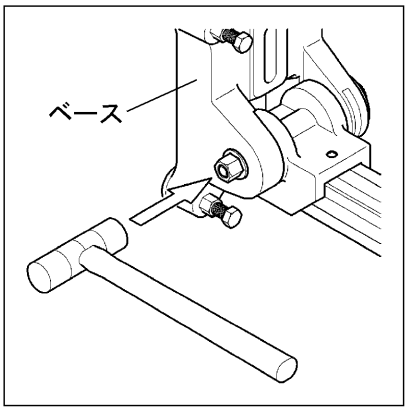
準備するもの

○ ラチェットレンチ （21mm） ： □49角度調整ベース
（36mm） ： □55 ・ □59角度調整ベース
○ プラスチックハンマー または 木ハンマー

1） 角度調整ベースを倒した状態にして、ラチェットレンチで六角ナットをゆるめるてください。 六角ナットをゆるめる際は、 取りはずさず締付けボルトの頭がのぞく程度にしてください。

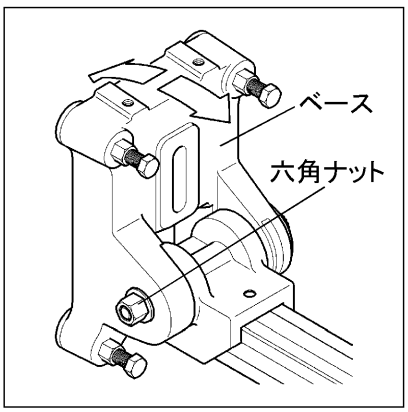


2） プラスチックハンマーまたは木ハンマーで締付けボルトを軽くたたき、 六角ナットがベースにあたるまで押出してください。 締付けボルトを押出すと、 締付けボルトのスプライン部のかみあいがとけ、 ベースを自由に動かせる状態になります。



3） 角度表示板の目盛を目安にベースを傾け、 六角ナットを締めて締付けボルトを引込んでください。 その際、 ベースを少し前後に動かしながら六角ナットを締めると、 締付けボルトを引込みやすくなります。

> ⚠ 注 意
> 締付けボルトをハンマーなどでたたいて挿入しないでください。 締付けボルトのスプライン部が破損する恐れがあります。



4） 切削時にポールが動かないよう、 ベースをポール方向に押付けた状態にして、 ラチェットレンチで六角ナットを締付け固定してください。